

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



八分咲きの桜の木を見て笑顔を見せる子どもたち(2月15日撮影)

陽気ぽかぽか 桜色鮮やかに

■坂口谷川沿いの河津桜が開花

坂口谷川(坂部区)沿いの約60本の河津桜が、2月中旬に見頃を迎えました。2月上中旬に暖かい日が続く、例年より開花がやや早く、見頃を迎えた川沿いの道には多くの人が訪れ、鮮やかな桜の花を堪能しました。

2月21日と22日には、地元住民による「坂口谷川河津桜まつり2026」がハイナン農協みかん選果場で開催されました。会場では、軽トラやキッチンカーが出店し地場産品や飲食物の販売などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

五穀豊穡と子孫繁栄を願い舞う

■国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」

国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」が2月14日、蛭児神社(中里区)で行われました。

神事では、五穀豊穡と子孫繁栄を願い、かがり火の前で「ほた引き」「本刀振り」などの儀式や「田打ち」「田植え」「稲刈り」など農作業の様子を模した計17演目が、約4時間かけて奉納されました。氏子の成年男子が語りと所作のみで伝統の舞を披露すると、見物客は静かに見守りました。

最後には「ほた小僧」と呼ばれる杉の束で作られた人形が本殿脇の桜の木に結わえられました。



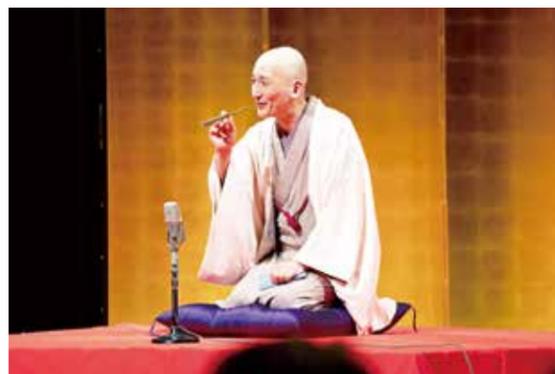
場を清め空間を結界する「長本刀振り」

落語で笑いあり学びあり

■男と女のフォーラム

「男と女のフォーラム」が2月28日、い〜らで開催されました。

市女性団体連絡協議会主催で、家庭生活や地域社会の向上発展を目的に開催。獣医師免許を持つ上方落語家の林家卯三郎さんを講師として招き、「〜ウサブロウの動物からみるゆかいな愛情物語〜男と女 助け合い 分かち合い」と題して講演。自身の経歴や家族との日常を楽しく分かりやすく話していただき、落語を披露した際には約300人の観客から大きな拍手と笑いが巻き起こりました。



落語を披露する林家卯三郎さん



協定を結ぶ堀川学長と杉本市長

学生の発想をまちづくりに生かす

■静岡産業大学との包括連携に関する協定

市と静岡産業大学は2月16日、包括連携に関する協定を締結しました。

県内8市町と協定を結び連携した取組を進めている同大学が、本市のさまざまな課題を解決していくために実施。今後はまちづくりやDX推進、防災対策、教育・人材育成などに関する取り組みに取り組んでいきます。同大学の堀川知廣学長は「本大学と市のつながりを深め、県内学生を中心に、県外や留学生などを集めて県内企業の就職へつなげたい」とあいさつしました。



「波乗りレモン餃子」の元レシピを考案した大岩さん(椋原高校3年)

「酸っぱい幸せ」をお届け!

■道の駅での「波乗りレモンフェア」

「波乗りレモンフェア」が道の駅「そらっと牧之原」で、2月7日から23日まで開催されました。

産地化を目指す市発ブランド「波乗りレモン」のPRと地域活性化が目的の企画で、食堂でのメニュー提供や、レモンやコラボ商品の販売を行いました。メニューの「波乗りレモン餃子」は、地元高校生が考案したレシピを基にし、波乗りレモンや市産の大根などで商品化。考案者の大岩由依さんは「地場産品を通じて市の取組や問題を知ってもらう機会ができたことはうれしい」と話しました。

晴天の下、意次侯ゆかりの路を力走

■第69回田沼意次牧之原市マラソン大会

第69回田沼意次牧之原市マラソン大会が2月1日、市役所相良庁舎周辺にて開催されました。

コースは2kmと5kmの2部門が行われ、タイム計測や表彰を行わずイベント性を高めた大会として開催されています。

スポーツ少年団の子どもたちや市外からのマラソン愛好者など、市内外から約560人が出場。出場者は晴天に恵まれた早春の田沼路を思い思いのペースで駆け抜け、沿道の家族や友人、大勢の住民からは温かい声援が送られました。



号砲とともに一斉にスタートする5kmの部の出場者

御神体を守り、豊作を願う「古例祭」

■県指定無形民俗文化財「一番神社の御神事」

一番神社(菅山区)に伝わる県指定無形民俗文化財「御神事」が、2月7日と8日に行われました。

この神事は毎年2月上旬に行われ、平安時代が起源とされる長い歴史をもつ古例祭。二十八名と呼ばれる地元の特定の家が主催し、御神体の「御神様」を開き、今年の吉凶を占います。

また、御神の舞と呼ばれる神楽も行われ、最後には今年おまつりする「御神様」が作られ、翌年の豊作を願いました。



榎の葉を口にくわえ、御神様を一番神社へと運ぶ行列



来場者にお茶を振る舞う川崎小の児童

静岡牧之原茶の多彩な味を満喫

■まきのはら協奏曲〜第10章〜/新茶祈願祭

「まきのはら協奏曲」と「新茶祈願祭」が2月1日、い〜らで開催されました。

イベントには市内外から約500人が来場し、市内茶生産者や店舗によるお茶やスイーツの販売、抹茶体験など、シーズン前にお茶に関するさまざまな催しを満喫。川崎小3年生によるお茶の振る舞いもあり、会場は大いににぎわいました。

新茶祈願祭には、茶業関係者らが集い、「今年もおいしいお茶ができるように」と高品質・高収量を祈りました。